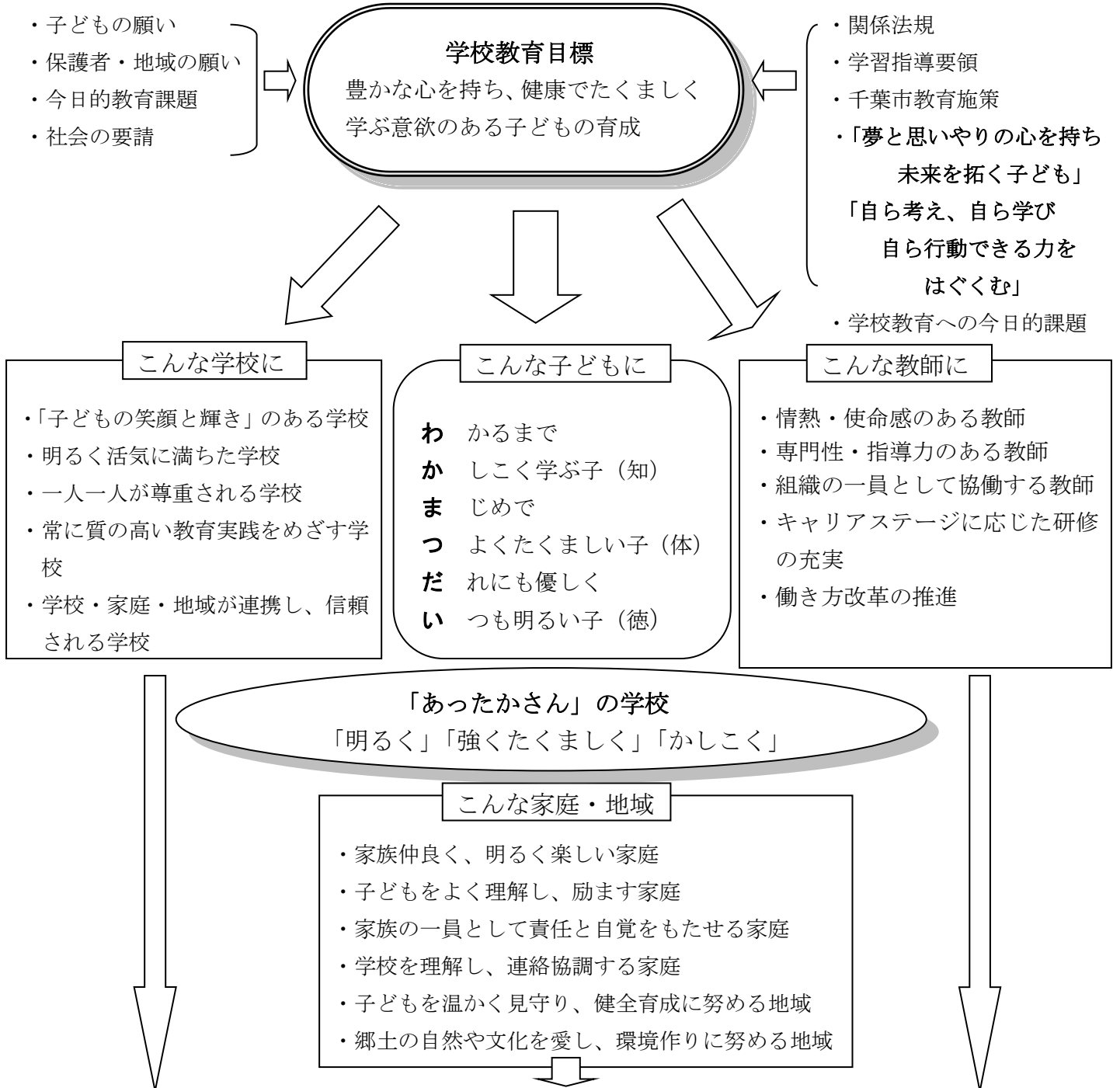


令和6年度 学校経営計画

千葉市立若松台小学校



<経営の方針>

子どもが主役

- (1) 「人間尊重の教育」を基盤とし、子どもを中心にすえた温かみのある教育の推進に努める。
- (2) 子どもが安全で楽しい生活が送れるように、教育環境の整備と充実に努める。
- (3) 教育活動を通して、基礎的・基本的な知識や技能の習得を図り、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力をはぐくむとともに、学ぶ意欲、主体的に学習に取り組む態度を養う。
- (4) 小規模校の良さを生かし、子ども一人一人の個性、実践力や責任感を育てる教育活動を推進する。
- (5) 特別支援教育の充実に努める。
- (6) 全教育活動を通して、キャリア教育を推進する。
- (7) 全職員協働により、教育目標具現化を図るため、「計画・実践・評価・改善」を行い、定着化を図る。
- (8) 家庭や地域の人々との連携を深め、相互の教育力を生かした開かれた学校の推進を図る。

【経営の重点】

	具 体 的 努 力 点
学級経営（含学年経営）の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○教師と児童、児童同士のふれあいを深め、<u>共に高めあう好ましい人間関係づくり（単学級）</u> ○基本的な生活習慣が身に付き、<u>進んで元気よく挨拶ができる</u>学級 ○<u>基本的な学習習慣</u>（正しい姿勢、鉛筆の持ち方、発表の仕方、聞き方：等）を身につける学級
学習指導の質的向上	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>わかる授業</u>による学習意欲の向上と基礎学力の定着（<u>学力差</u>） ○思考力・判断力・表現力を育むための言語活動の充実 ○体験学習・問題解決学習を積極的に取り入れ、学習意欲を高める ○学校図書館の活用と読書活動の推進 ○校内研修の充実（一人一授業の実施、<u>ICT活用</u>）と共同研修・自己研鑽の推進
道徳・特別活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○思いやりの心の育成と一人一人の夢の実現 ○<u>道徳の授業を中心として、日常生活の中で児童の心を育てる</u> ○異年齢交流を柱に、人間的ふれ合いを大切に活動（月一回のたてわり遊びと、たてわり給食の実施、たてわり活動での勤労生産的活動） ○たてわり活動では、各学年に応じたためあてを意識して、活動できるようにする
生徒指導・教育相談・特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人に寄り添った <u>誰一人取り残すことのない教育の実現</u> ○報告、連絡、相談の徹底 ○<u>問題行動の早期の発見と改善・解決（毎月アンケートの実施・いじめ事案への対応）</u> ○<u>不登校児童への支援の充実</u> ○内容によってはケース会議を持ち、保護者・外部機関への連絡等相互協力を行う
健康・安全教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○教科体育の充実（めあて学習への取り組み）と業間休みの遊びの日常化（学級経営の一環） ○う歯予防を核とした健康教育（学校医、学校歯科医との連携）←フッ化物洗口あり ○避難訓練・防犯訓練・学校保健委員会の充実と<u>危機管理体制の整備</u>
環境整備・美化教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○自然愛護、勤労生産としての花壇や畑の活用 ←学級花壇の整備 ○<u>清掃活動の充実</u>、特別教室の効果的な活用 ○安全・安心な教育環境の整備（日頃の見回り、安全点検）
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭・地域・学校との連携を密にした「開かれた学校」の推進 ○学校評価アンケートの実施、<u>情報を発信</u>できる学習参観・懇談会の実施
生活科・総合的な学習の時間の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>特色ある教育の推進</u>（地域の人材、ボランティアの活用と生活科・総合的な学習の時間のカリキュラムの<u>見直し</u>、児童のボランティア活動の推進） ○子ども同士が認め励まし合い、豊かな体験活動を通して、コミュニケーション能力を育成する ○自ら課題を持ち、よりよく問題を解決する学習の工夫 ○<u>幼保小関連教育推進校</u>
キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○生活科や総合的な学習の時間に、キャリア教育を視点とした単元を組み入れる ○キャリアパスポートの計画的、系統的な取り組み ○<u>夢や目標に向けた学びの実現</u>

令和6年度の学校経営について

学校教育目標

豊かな心を持ち、健康でたくましく、学ぶ意欲のある子どもの育成

あかるく つよく たくましく かしこく あったかさんの学校

やさしい子（徳） だれにも優しく いつも あかるい子

- 教師と児童、児童同士のふれあいを深め、「豊かな心を育成する」
- 自己肯定感を高め、温かい思いやりの心で互いに認め合い高め合う **好ましい人間関係づくり**
- 道徳の授業、月1回のアンケート、個人面談を通し、いじめのない学級づくり（早期発見、早期対応）
- 基本的な生活習慣を身に付け、「進んで元気よく挨拶ができる」よう指導の工夫
- 低学年は「挨拶」「言葉遣い」、中学年は「感謝」「奉仕」、高学年は「感謝」「向上心」を重点とする
- 異年齢交流**を柱に、人間的ふれ合いを大切に活動（月一回のたてわり遊びと、たてわり給食の実施、たてわり活動での勤労生産的活動）を実施
- 生徒指導委員会・特別支援教育校内委員会・教育相談の充実、外部機関との連携による個別支援

たくましい子（体） まじめで つよく たくましい子

- 教科体育や体育的行事を充実させ、業間休みの遊びを奨励し「健やかな体を育成する」
- う歯予防を核とした健康教育（学校医、学校歯科医との連携）推進
- 清掃活動の充実
- 生活科や総合的な学習の時間や他の教育活動に、キャリア教育を視点とした学習

かしこい子（知） わかるまで かしこく学ぶ子

- 「わかった、できた、楽しかった」を感じる学習の工夫・改善、ICTを活用し「確かな学力を育成する」
- 朝学習、家庭学習、自主的な学習を効果的に取り入れた **基礎学力の定着**
- 児童の主体的な活動を重視し、学び合いを取り入れた **問題解決的学習の実施**
- 体験的な学習の場を意図的に設け、授業展開を工夫し、**学習意欲の向上を目指す**
- 基本的な学習習慣**（正しい姿勢、鉛筆の持ち方、発表の仕方、聞き方：等）の習得
- 特色ある教育の推進（地域の人材、ボランティアの活用、総合的な学習の時間のカリキュラムの見直し）
- 図書室を活用した授業の工夫と読書習慣育成のための朝の時間の活用・家庭読書の奨励

安全・安心な学校づくり

- 命を守るという視点に立った安全指導の強化（交通安全、防犯、防災）
- 事故発生時の校内マニュアルを作成し、教職員の共通理解・共通行動を図る
- 保護者・地域との連携強化**（家庭・地域への情報発信と地域人材の積極的活用）
- 情報管理の徹底、危機管理体制の確立（防災、食物アレルギー等）